

チョウの食草と食樹



アゲハ

林縁部から都市部など、多くの場所で見られるアゲハの仲間。食草は栽培ミカン類やカラスザンショウなどのミカン科の植物。似た見た目をしているキアゲハとの見分け方は、前翅の胴体寄りの上部分（中室）が、黒い線状になっているのがアゲハ、全体的に黒くなっているのがキアゲハである。



←キアゲハ 食草はニンジンやパセリなどのセリ科の植物。



サンショウ



ジャコウアゲハ

明るい草原環境や、やや暗い場所で生息しているアゲハの仲間。食草はウマノスズクサなど、ウマノスズクサ科の植物。後翅の帯が長めで、胴体を横から見ると赤い線が入っている。



ウマノスズクサ



←ジャコウアゲハの幼虫



ナガサキアゲハ

農地や人家周辺に生息するアゲハの仲間。食草はナツミカンやユズなどの栽培ミカン類である。昔は九州や四国南部までが生息環境だったが、食草の栽培拡大や温暖化の影響で北上してきたチョウである。



ミカン



モンシロチョウ

平地などの農地やその周辺の荒地などに生息するシロチョウの仲間。食草はキャベツやアブラナなど、アブラナ科の植物。日中は、タンポポ類やヒメジョオンなどの花に訪れる。



セイヨウアブラナ



ヤマトシジミ

カタバミが生えている場所に生息する、シジミチョウの仲間。食草はカタバミ。日中は、低い位置を飛び、カタバミやシロツメクサなどの花に訪れる。



カタバミ



ベニシジミ

農地周辺の小規模な草地から、都市部の荒地などに生息する、シジミチョウの仲間。食草はスイバやギシギシなどのタデ科の植物。日中は、タンポポ類やヒメジョオンなどの草本の花に訪れる。都市部では生息環境が限られている。



ギシギシ



アカボシゴマダラ（幼虫あり）

平地～低山地の樹林に生息する、タテハチョウの仲間。食草はエノキ（アサ科）である。

原産地：中国大陸の人為的に持ち込まれた特定外来生物である。



←アカボシゴマダラの幼虫
ゴマダラチョウやオオムラサキの幼虫に似ている
特定外来生物に指定されているため、飼育は禁止されている。
（写真は指定前の飼育個体）



エノキ



ツマグロヒョウモン（幼虫あり）

主に平地～丘陵地の明るい草地に生息する、タテハチョウの仲間。食草は、スミレの栽培種（パンジーなど）や、タチツボスミレやスミレなどである。

分布が北方に拡大しており、東京では2000年代に入り普通に見られるようになった。



↑ツマグロヒョウモン幼虫



タチツボスミレ



ヒメアカタテハ

平地～山地の明るい草地に生息する、タテハチョウの仲間。

食草はハハコグサ、ヨモギ、ゴボウなどである。都市部では秋になると個体数が増加する。



ヨモギ



サトキマダラヒカゲ

平地～山地の森林の森林に生息する、タテハチョウの仲間。クヌギやコナラなどの樹液を好んで集まる。

食草はマダケ、アズマネザサなどのタケ・ササ類である。



アズマネザサ



ヒメジャノメ

雑木林周辺の開放的な環境を好んで生息する、タテハチョウの仲間。草地上を跳ねるように飛び、葉上によく止まる。食草はイネ、チヂミザサ（イネ科）やカサスゲ、ヒメスゲ（カヤツリグサ科）など。



カサスゲ



イチモンジセセリ

秋にかけて都市の花壇など、どのような場所でも見られる。日中敏速に飛翔し、花によく訪れる。

食草はイネ、イヌムギ、チガヤ、ススキなどのイネ科植物。



ススキ



セスジスズメ (幼虫あり)

平地、草地、住宅地などに生息する、スズメガの仲間。

生活型は、卵→幼虫→さなぎ→成虫の、完全変態を行う。土中に潜り、さなぎになる。

食草はヤブガラシ、サトイモなど様々な植物。



→セスジスズメ幼虫

ヤブガラシ



ウンモンズズメ

スズメガの仲間。

前翅の薄い緑に濃い緑をぼかした模様が雲の様に見えることからこの名が付いているスズメガの仲間。

食草はケヤキ、ニレ。



ケヤキ



オオミズアオ

平地から高原まで広く生息する大型のヤマユガの仲間。夜間、よく灯火に飛来。

食草は、モミジ、アンズ、サクラ、ウメなど。

オナガミズアオと見た目が似ている。



ソメイヨシノ



ヤママユ

ヤママユガの仲間。

本種の繭から作られる生糸は、淡い緑色をしていて高級絹の材料として利用される。食草はブナ科のクヌギ、コナラ、カシやバラ科の葉。



コナラ

参考文献

小川雄一「フィールドガイド 増補改訂版 日本のチョウ」 株式会社 誠文堂新光社 2019年1月17日発行

チョウ目・鱗翅目・身近な昆虫図鑑

<https://sorairo-net.com/insect/cho.html> 最終閲覧日 2020.9.16

福光村・昆虫記

http://fukumitu.sakura.ne.jp/insect/ga2_.html#c103 最終閲覧日 2020.9.16